

幸報ふじ

発行：佐賀市富士支所
編集：幸報ふじ事務局
(一般社団法人スマイルアース)
TEL：0952-57-2341
FAX：0952-57-2217
hoonoki@smile-e.org
住所：富士町藤瀬724-4

「よそ者」であり続ける日々、それが自分の役割

お百姓をしながら、三瀬・富士・松梅地区で地域おこしの活動もしている田中一平さんに会ってきました。



田中一平さん(古場地区)
昭和55年4月26日生まれ

ところで皆さま、「ムラ」ってご存知ですか？ 三瀬村の商工会館跡を素敵に改装し、「三瀬CUBE(キューブ)」と名付けて活動拠点としている、地域おこしのNPO法人です。メインのスタッフは3名。それぞれが自分の考えのもとに活動しています。

サポートをしたい。そうすることで、自分を含め、みんなが楽しくなっていけたらいい」これが一平さんの想い。

「そういうことを、ここで暮らして、ここで農業をやっている自分がやることに意味があると思う」

一平さんを「田中さん」ではなく、どうしても「一平さん」と呼んでしまうのは「平農園」の印象が強いからでしょうか。

一平さんを「田中さん」って呼んでいる人、いるのかなあ。」「田中さん」って呼ばれても彼は振り向かないんじゃないかなあ、と思ってしまうほど。

現在はお米と自給用の野菜のみを栽培している一平農園ですが、三年前までは、奥さんの久美子さんとふたりでバリバリ有機農業をやっていたんです。私なんて、恐れ多くて近づけないほどでした。

福岡県筑紫野市の「むすび庵」で、一年間有機農業の研修を受け、ここで有機農業界のすごい人たちがたくさん出会った一平さん。奥さんともここで知り合ったそうですよ。

一平さんが本当にやりたいこと、それは社会を変えること。

「有機農業を極めたいというよりは、有機農業を広めたい、とずっと考えてます」

晴好雨奇 木原昭芳
豆を干す仕上げの日和ほしきかな
気になる空模様、あと一日よい天気が続きますように…。

「失敗の許される社会にした。遠慮なく何でもやってみたい。田舎では一回失敗したらダメって言われちゃうけど、失敗したらもう一回チャレンジできる社会になってほしい」

この志の起源は、かなり個人的だった高校生の頃にあるようです。

福岡市の街中で生まれ育った一平さん。名門、筑紫丘高校に入学するも、周囲があまりに勉強ができたので「グレート」しまい(本人談)、繁華街に通うようになり。そして、高校2年の夏から3年の夏、いきなりアメリカカリフォルニア州サンノゼの公立高校に留学。そこで、個人の自由を尊重する社会を見えます。

帰国後、予備校生活を経て、日本一自由な大学、慶應義塾大学総合政策学部(SFC・湘南藤沢キャンパス)に入学。一般教養なし、全員がノートパソコンを持ってインターネットにつなげたまま授業を受けるという、アメリカ的な雰囲気の中で授業をここでも受けました。

けれども、そんな雰囲気の中でいろんなことをやった結果、何をやらなければいいかわからなくなってきた。

「生き物の中で、おとなになっても笑ったり遊んだりするのは、

人間だけでしょ。遊ぶことは人間のアイデンティティ。だから自分はいつも遊んでる」

結局、予備校の恩師の「人は大地があれば生きていけるんだ」という言葉が心に残っていたこと、畑仕事のサークルに所属していたこともあり、いろいろな本を読み、有機農業の世界に入ります。

一年間の研修後、福岡県粕屋郡須恵町で二年間農業をし、三瀬村の養鶏家、小野寺さんとの出会いをきっかけに、二〇〇八年にここ富士町に移ってきました。

そうやって大学卒業からずっと突っ走ってきた一平さんは、農業を始めて十年の節目となる二〇一五年、立ち止まって考えることにしました。農業を稲作だけにしぼり、余裕のできた時間で、地域おこしの活動をした



どこでできなかったことに着手した

のです。それが、今の「ムラ」での活動につながっていき

ます。一平さんが目下取り組んでいるのは、11月19日に行われる「富士しゃくなげ湖ハーフマラソン」事務局のお仕事。この大会を通じてたくさんの人に富士町の魅力を伝えたい、という強い想いで頑張っています。

「参加した人たちが富士町のファ

ンになって、また来てほしい。日本中で、田園回帰という動きが広がっているけれども、このマラソン大会をきっかけに、山で暮らすことの楽しさに気づいてもらえたら」

一平さんは私にとって、農業者として、移住者としての先輩であり、想いを同じくする同志です。私たちはともに、広い世界の中からこの富士町を選んで移住してきました。だから、魅力的な富士町でありつづけてほしい。廃れていってほしくありません。一平さんは言います。

「農山村は外部の人材を必要としているし、外からの刺激が必要。変えるべきところを変え

ることで、守れることもある。自分の役割は、富士町の中に新しい刺激や考えを入れていくこと」

私たち移住者の役割は、一つは、地元の方々が当たり前だと

思っていて見過ごしてしまうような魅力を発見し、発信することであり、もう一つは、流れを変えなければ衰退してゆくしかない過疎地域に、新しい流れを作り出すことなのだ、と、再認識させてもらった取材でした。

(記事 恵良五月)

- 2017年11月19日(日) 雨天決行 受付8時～、開会式9時～ ハーフマラソン9時30分スタート!
- 会場 小中一貫校北山校
- コース 富士しゃくなげ湖周回コース
- * 一部区間で交通規制が行われます
- * 富士町民もランナーも共に楽しんで、良い思い出を作りましょう!
- * コース沿道での応援をお願いします。また、ボランティアも募集中です!
- 問い合わせ先 富士しゃくなげ湖ハーフマラソン事務局 070-4816-3000 (担当: 田中)





3階病棟スタッフ

佐賀市立富士大和温泉病院
63-0111
ホームページ
http://www.hospitalfj.saga.jp/

◆当科はさまざまな項目があります。タコウオノメ、はれ、むくみ、乾燥、いぼ、へびいぼ、皮膚のめくれ、傷、むくみ、足のしびれ、足の痛み、足が冷たい、足がよくこる

- ①足をよく洗う。②足をきれいに洗う。③足に合った靴をはく。④足の爪は定期的な切る。⑤足や爪に異常があったら専門医に相談する。

介護予防につながる足メンテナンス
みなさん、介護予防という言葉はご存知ですか。これは高齢者が元気になるために、将来介護を必要としないように予防しましょうという国からの呼びかけです。介護予防には、歩くための足腰を鍛えることが非常に重要です。足は第二の心臓とも言われています。足の健康を保ち動かすことで全身に血液を送ります。全身に送られた血液は、もちろん脳にも新鮮な血液を送り脳の活性化にもつながります。そのため足のお手入れも大切な介護予防につながります。歩くためには、健康な足が必要です。ぜひ、これからは毎日の習慣として簡単な足のお手入れを取り入れてみてください。健康な足で転ばない介護予防に努めましょう。

ふれあいる一む 10・11月の予定

おばあちゃんまで誰でも使える場所です。季節に合わせて、ミニコンサート・食育講座・おはなし会・バス遠足など、楽しい催しがいっぱい。たくさんのお出合いを大切に、みんなのふれあいの場所、それがふれあいる一むです。 ※ 問い合わせ：佐賀市社会福祉協議会 富士支所 TEL 58-2311

- ★ 10月の予定 ★
4日(水) わらべうたサロン (タッチケア&デコカレンダー作り)
6日(金) ぐんぐんキッズ (バス遠足-リンゴ狩り- 参加費320円)
10日(火) ぐんぐんキッズ (おゆずり会)
13日(金) ぐんぐんキッズ (ハロウィンを楽しむアイテムを作ろう)
20日(金) ぐんぐんキッズ (みそ作り&新米食べ比べ 参加費500円※要予約)
24日(火) かふえタイム (Book Cafe ~いぬの世界~)
31日(火) ぐんぐんキッズ (ハロウィンパレード)

- ★ 11月の予定 ★
1日(水) わらべうたサロン (タッチケア&デコカレンダー作り・乳幼児相談)
7日(火) ぐんぐんキッズ (お外で遊ぼう -なわとびであそぼう-)
10日(金) かふえタイム (Book Cafe ~歌にのせる歌詞の世界~)
14日(火) のびのびタイム (親子でリズムダンス)
17日(金) ぐんぐんキッズ (クッキング-おばあちゃんの常備菜- 参加費300円)
21日(火) ぐんぐんキッズ (みんなであそぼう)
24日(金) ぐんぐんキッズ (木の葉でクリスマスリースを作ろう 参加費500円)
28日(火) ぐんぐんキッズ (ツリー&オーナメントを作ろう)

お宮のぎんなんの木のちよっぺんに、かちゅうの、果ばかけとつたて。
そして、そこで卵ば生んで温めとつたぎ、その晩、きつねの来て、ぎんなんの木のちよっぺんに、かちゅう、おいに卵ばいっちょくいる。くれんぎんと、そこまで登って来て、わがまで食うじゃ」て言うて、齧すもんじゃ、しかたないかちゅうは、卵ばいっちょくいる。くれんぎんた、わがまで食うじゃ。」「て言うて、いっちょく卵ばおとつて帰った。そいもんじゃ、かちゅうの果の中じゃあ、とうとう卵のいっちょくしか無かなくなった。

秋風にふれあい求めるスポーツの祭典!!
第47回 富士町民体育祭
●日時 10月8日 日曜日
午前9時20分 集合
※雨天中止の場合：前日に防災無線放送
●場所 富士運動広場

かちゅうは、哀しゅうして、哀しゅうして、果の中で泣きよった。そいぎ、そこい、しらさぎの飛んできて、「なしそがんと泣きよっかい、ないしたかい。」「て言うて、かちゅうに、理由ば聞いたぎ、「きつねの毎晩来て、卵ばいっちょく、おとつて行くもんじゃ、とうとういっちょくなつてしまつた。そいけん哀しゅうして泣きよった。」「て言うて、しらさぎは、「なんてそがんやっかい、やらんぎよかやっかい。」「て言うて、かちゅうは、「そいばつてん、卵ばくれんぎ、木に登って来て、わがまで食うじゃ、てきつねの言うもんじゃ。」「そいぎ、しらさぎは笑うて、「ないてきつねのぎんなん所まで登ってきゅうかい、ありやあ、なすびの木にはしご掛けたちよっぺんが、登いきらんとこい。今度、きつねの来て、齧したこんな、おい、きつね、登いきつないこまで登ってこい。そいよいか、まあだよか事は教ゆるだ。中原峠の堤にや、三尺ぐりやあの鯉の魚のおつ、そこさ行たて、堤の中に尻尾は入れとつぎ、じきと尻尾に鯉の魚のかかっけんが行たてみる。て言え。」「て教え

たて。
かちゅうは、哀しゅうして、哀しゅうして、果の中で泣きよった。そいぎ、そこい、しらさぎの飛んできて、「なしそがんと泣きよっかい、ないしたかい。」「て言うて、かちゅうに、理由ば聞いたぎ、「きつねの毎晩来て、卵ばいっちょく、おとつて行くもんじゃ、とうとういっちょくなつてしまつた。そいけん哀しゅうして泣きよった。」「て言うて、しらさぎは、「なんてそがんやっかい、やらんぎよかやっかい。」「て言うて、かちゅうは、「そいばつてん、卵ばくれんぎ、木に登って来て、わがまで食うじゃ、てきつねの言うもんじゃ。」「そいぎ、しらさぎは笑うて、「ないてきつねのぎんなん所まで登ってきゅうかい、ありやあ、なすびの木にはしご掛けたちよっぺんが、登いきらんとこい。今度、きつねの来て、齧したこんな、おい、きつね、登いきつないこまで登ってこい。そいよいか、まあだよか事は教ゆるだ。中原峠の堤にや、三尺ぐりやあの鯉の魚のおつ、そこさ行たて、堤の中に尻尾は入れとつぎ、じきと尻尾に鯉の魚のかかっけんが行たてみる。て言え。」「て教え

富士町体育協会主催 女子混合バレーボール大会
●日時 10月26(木)・27日(金)
午後7時より開始式、7時30分より試合開始
※ 以後の日程とも同じ。(時間厳守)
●会場 富士校中学部体育館
※ 駐車場は、富士支所駐車場を利用してください。
●申込期限 10月17日 火曜日午後5時まで
●申込先 富士公民館内(体育協会事務局)
TEL 58-2882 FAX 58-3589
●監督会議および抽選会 10月24日 火曜日 午後7時30分
富士公民館会議室にて
※ 監督会議に出席しないチームは棄権とみなします。

に、おとんの尻尾ばつくとつぎ、じきと鯉の魚のかかっけんが行たてごい。」「て言うて、そいば聞いたきつねは、喜んで中原峠さい断けて行たて、じいっ堤の中に尻尾ばつくとつて、鯉の魚のかかっくとつたとつたて。そいばつてんが、いくら待たつてちよっぺんかからんやつたて。欲のきつつかきつねは、「一匹ぐりやあはつらん事にや。」「と、又じいっと待たつたとつたて。そいぎ、そのうち雪の降って来て、だんだん堤の凍ってきたばつてん、きつねは鯉の魚ば釣ろうと頑張つたとつたて。そいもんじゃ、とうとう堤には氷の張って、尻尾の凍いちいて、動かれんごとなつてしまつたて。
そして、あくる日、その中原峠の堤さい来た人間に捕つてしまつたて。
麻那古 嘉村 秀一 (当時七十才)
出典 富士町の民話8頁

「幸報ふじ」は、インターネットでも閲覧・ダウンロードができます。
ウェブサイトを http://www.smile-e.org/kohoufuj.html に掲載しています。

次号『幸報ふじ』は11月下旬の発行予定です。

みななの声
皆さんからの声をお待ちします。掲載できるものであれば、どんどん載せていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。
幸報ふじ事務局

- イベント情報
古湯鉦浮立 10月7日
杉山天衝舞浮立 10月14日
市川天衝舞浮立・須田鉦浮立 10月21日
富士町ふれあい祭り(富士支所) 10月28・29日
2017インターナショナルバルーンフェスタ(佐賀市) 11月1日~5日
富士しゃくなげ湖ハーフマラソン2017 11月19日
10・11月の行事予定
10月
◆淀姫神社 秋季大祭(上無津呂) 7日
◆富士町民体育祭 8日
◆早馬祭「ハマサイ」(大串) 17日
◆女子混合バレーボール大会(体育協会) 26・27日
11月
◆バトミントン大会(体育協会) 5日
◆防火パレード(佐賀市消防団北部方面隊富士支団)
※行事につきましては順不同、日程の変更があります。ご了承ください。